第9回文部科学大臣杯争奪
全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会
(2021.11.13-14　郡山総合体育館)

目　　次

大会次第	02
ごあいさつ	03
大会役員	10
競技役員	12
大会要項	13
競技・審判上の注意	15
新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン	18
新型コロナウイルス感染症対策上の競技・審判上の注意	19
大会日程	21
タイムテーブル	22
練習コート割り振り	23
組合せ	24
選手名簿	26
昨年度実績	27
過去の成績	29
主管学連紹介	30
会場案内図	31
体育館見取図	32

大　会　次　第

Ⅰ．代表者会議　11月12日(金) 16：00 ～　オンライン

1.あ　い　さ　つ	大会委員長	全日本学生バドミントン連盟委員長	佐藤　優太
2.競技、審判上の注意	競技役員長	日本バドミントン協会公認レフェリー	戸川　力夫
3.棄　権　、訂　正	大会副委員長	関東学生バドミントン連盟委員長	湊　彩華
4.諸　注　意		関東学生バドミントン連盟常任委員	吉村　篤郎

(1)試合会場について

(2)感染症対策について

(3)その他

Ⅱ．開　会　式　11月12日(金) 17：00 ～（代表者会議終了後）　オンライン

1.開　式　通　告	☆司　会	関東学生バドミントン連盟委員長	湊　彩華
2.開　会　宣　言	大会委員長	全日本学生バドミントン連盟委員長	佐藤　優太
3.開会の挨拶	大会名誉会長	日本バドミントン協会会長	関根　義雄
4.開会の挨拶	大会会長	全日本学生バドミントン連盟会長	宮崎　重勝
5.歓迎の挨拶	大会副会長	福島県バドミントン協会会長	吉田　邦男
6.閉　式　通　告	☆司　会	関東学生バドミントン連盟委員長	湊　彩華

Ⅲ．閉　会　式　11月14日(日) 決勝戦終了後　宝来屋 郡山総合体育館　メインアリーナ

1.開　式　通　告	☆司　会	関東学生バドミントン連盟委員長	湊　彩華
2.成　績　発　表	競技役員長	日本バドミントン協会公認レフェリー	戸川　力夫
3.表　彰	大会会長	全日本学生バドミントン連盟会長	宮崎　重勝
4.閉会の挨拶	大会会長	全日本学生バドミントン連盟会長	宮崎　重勝
5.閉　会　宣　言	大会副委員長	全日本学生バドミントン連盟副委員長	岡田　千穂
6.閉　式　通　告	☆司　会	関東学生バドミントン連盟委員長	湊　彩華

ごあいさつ



（公財）日本バドミントン協会

会長 関根義雄

第9回「全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会」が令和３年８月７日、８日に全国各地の学生諸君を集め、神奈川県小田原市にある小田原アリーナにおいて、開催されされますことは、誠に喜ばしい限りであります。

現在の日本バドミントンの競技力はたいへん高くなっており、本大会前に開催されている東京オリンピックでは、多くの選手が活躍をしていることでしょう。

本大会の目的は、学生のミックスダブルス大会の競技力を高める事にあります。このことは、ひいては日本バドミントン界のミックスの競技力を高めることになり、協会としても大いに期待しております。

本大会に参加する選手は、この大会の上位に入ることで全日本総合選手権大会の出場資格を得ることができます。選考された選手諸君は学生バドミントンだけではなく、大いに日本のトップと対等に戦える力をつけて頂きたいと思います。選手諸君の頑張り・活躍を期待します。また、フェアプレーの精神にみちた学生らしい溌剌としたプレーで、日頃鍛えた力と技を遺憾なく発揮していただけたら幸いです。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご協力、ご支援を賜りました関係各位に深く 感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

ごあいさつ



全日本学生バドミントン連盟

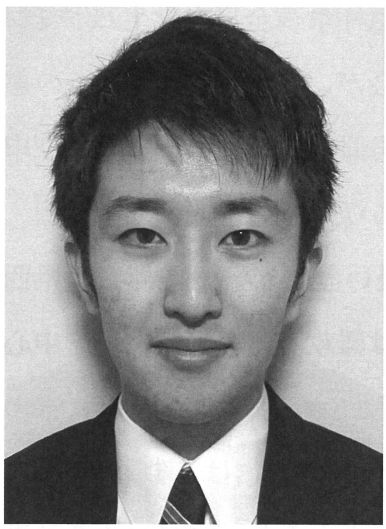
会長 宮崎重勝

梅雨入りが発表され、連日蒸し暑い日々が続くなか、選手の皆様は活動が制限されるなか練習に励んでいることと思います。

昨年のこの大会はコロナ禍の中で中止となりました。今年は若干ではありますが感染者が減少しているように思われますが、まだまだ油断のできないところです。

そんな中、関係各位の協力を得て第９回全日本学生ミックスダブルス選手権大会が８月７日(土)、８月８日(日)の両日、全日本学生連盟主催、関東学生連盟主管で神奈川県の小田原アリーナで開催される運びとなりました。選手の皆様には、体調管理には格段の注意を払い３密を避けて、怪我病気のないよう、ベストの状態でオールジャパンを目指して、白熱したゲームを展開してくれることを願っています。

最後になりましたが大会開催にあたり、仲々集っての準備もままならない中、大会開催にご協力いただいた関東学生連盟をはじめとする関係各位にお礼申し上げ、大会の成功を祈り挨拶とします。



全日本学生バドミントン連盟

委員長 佐藤優太

今年度全日本学生連盟の委員長を務めさせていただきます。神奈川大学の佐藤優太と申します。

昨年は新型コロナウイルスの影響で大会を開くことが出来ず、練習の成果を発揮出来ないまま卒業した先輩方を間近で見てきて、力不足を痛感しました。様々な制限はありますが、全日本ミックスダブルス選手権を開くことができて大変嬉しく思っています。選手の皆さんが練習の成果を発揮出来るように、この後に控えている全日本学生選手権についても開催できるように全力を尽くしていきます。また開催には、選手のみなさんのお力が必要となりますので、ご協力よろしくお願い致します。体調や怪我に注意し、全ての日程が無事に終了されることを願っています。

最後になりましたが、本大会を開催するにあたり御支援、御協力賜りました関係者各位の皆様方にこの場をお借りしてお礼を申し上げ、挨拶とさせて頂きます。

ごあいさつ



郡山市長

品川萬里

「令和３年度 第９回 文部科学大臣杯争奪全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会」が、全国から多数の参加者、関係者の皆様をお迎えし、ここ郡山市で開催されますことは、誠に喜ばしく、市民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、コロナ下にあっても様々な感染拡大防止対策を講じ、本大会の開催・運営に御尽力を賜りました関係者の皆様方に敬意を表します。

さて、バドミントンは、気軽に楽しめるスポーツとして老若男女を問わず幅広い年代の方々に親しまれており、体力の向上や健康づくり、地域や世代を超えた交流促進など、私たちの豊かな生活に寄与しております。

こうした中、当市におきましては、施設の充実や交流機会の創出を図り、市民の皆様が世代を問わず生涯にわたって気軽にスポーツに取り組み、親しむことができるまちづくりを推進するとともに、「誰一人取り残さない持続可能な社会」を目指すＳＤＧｓの理念のもと、お一人おひとりが健康で活躍できる「全世代健康都市圏」の創造を目指しております。

本大会の開催により、全国各ブロックを代表する精鋭が集いハイレベルな熱戦を繰り広げられますことは、バドミントンの普及や競技力向上はもちろんのこと、当市のスポーツ振興全般にも大きく御貢献いただけるものと確信しております。

出場される選手の皆様には、怪我や事故の防止はもちろんのこと、感染症対策にも十分御留意いただいた上で、日頃の練習の成果を十分に発揮され、自己ベストのプレーを目指していただくとともに、全国各地で同じ競技に取り組む仲間との親睦を深めていただき、大会の良き思い出としていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり御尽力を賜りました関係者の皆様方に深く感謝を申し上げますとともに、大会の御成功と選手の皆様の御健闘、御活躍を心から御祈念申し上げ、歓迎の御挨拶といたします。



福島県知事

内堀雅雄

令和３年度第９回文部科学大臣杯争奪全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会が本県で開催されますことをお祝い申し上げますとともに、全国各地から御来県くださいました選手並びに関係の皆様を心から歓迎いたします。

また、厳しい予選を見事に勝ち抜き、晴れて本大会に出場される選手の皆様、誠におめでとうございます。これも皆様の日頃の御努力と支えてこられた関係の皆様の御尽力の賜物であり、心から敬意を表します。

さて、本県では「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」をスローガンに掲げ、県民の誰もが、豊かなスポーツライフを創造できる生涯スポーツ社会の実現に取り組んでいるところです。

バドミントン競技は、年齢・性別を問わず世界中で多くの人々に愛好されているスポーツとして日本国内でも盛んに行われております。

先に行われた東京２０２０オリンピック競技大会では、本県ゆかりの渡辺勇大選手と東野有紗選手がミックスダブルスで見事銅メダルを獲得し、これまで以上に日本人選手の活躍に関心が高まっているところです。

そうした中、ミックスダブルスの大学日本一の座をかけて戦う本大会の開催は、バドミントンの競技力向上はもとより、本県スポーツの振興にも大いにつながるものと期待しております。

選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮され、白熱した試合を通して、全国の仲間と友好を深め、思い出に残るすばらしい大会となりますことを心から願っております。

結びに、大会の開催に御尽力くださいました関係の皆様に敬意を表しますとともに、選手の皆様の御健闘と大会の御成功を祈念申し上げ、祝辞といたします。

ごあいさつ



福島県バドミントン連盟

会長 吉田邦男

第９回文部科学大臣杯争奪全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会が全国大会上位入賞者及び各ブロックからの推薦出場選手と監督・役員の皆様をお迎えし11月13日(土) 14日(日)の両日、郡山市において盛大に開催できますこと、誠に喜ばしく心より歓迎申し上げます。

バドミントンは老若男女、だれしもが気軽に参加できるスポーツである一方、奥の深いハードな競技スポーツとして人気を集めております。今年の夏に実施された「２０２０東京オリンピック・パラリンピック」では福島県ゆかりの選手である渡辺勇大・東野有紗選手がミックスダブルスで見事銅メダルを獲得し広く報道されました。今後ともミックスダブルスは大いに人気を集める種目になるものと思われます。

昨年から新型コロナウイルスによる感染症が世界中に拡大し、国内においても各種スポーツイベントが軒並中止されました。国体が２年連続中止になるなど開催自治体、参加選手にとっては厳しい日々が続いておりました。しかし今年に入り、３月には郡山市において全国高校選抜など全国大会が再開されるようになりました。これはスポーツ庁、(財)日本バドミントン協会等により示された感染拡大防止対策を講じた結果と考えられます。最近ではコロナ感染者が減少の傾向にありますが、これから寒さを増し乾燥する季節をむかえます。最大限注意を払い実施されることを希望します。

終わりにこれまで開催にむけて努力された学生連盟の皆様、協力いただく役員の方々に感謝申し上げるとともに重ねて皆様を歓迎いたします。



関東学生バドミントン連盟

委員長 湊　彩華

2021年度の大会も半ばまできました。例年とは違いコロナウィルスに怯える毎日ですが、大会を順調に終え、全日本ミックスダブルスを無事迎えられたこと、嬉しく思います。

本大会は全国から多くの選手の方が参加されます。各地方の優秀な選手の方々と戦える機会を思い残すことなく日頃の練習の成果を十分に発揮するとともに、出場される選手の皆様がスポーツとしてのマナーを忘れることなく、正々堂々戦って下さることを願うとともに、選手の方それぞれが体調管理及び怪我には十分注意し、無事に終了されることを願っております。

また、コロナ禍での大会になりますので、対策等しっかり行いたいと思っておりますが、感染リスクを下げる為には皆様のご協力が必要となります。ご迷惑をおかけしますが何卒ご協力の程、宜しくお願い致します。

最後になりましたが、本大会を開催するにあたり御支援、御協力賜りました関係者 各位の皆様方にこの場をお借りしてお礼を申し上げ、挨拶とさせて頂きます。

大会役員　役員

大会名誉会長	(公財)日本バドミントン協会	会長	関根　義雄
大会会長	全日本学生バドミントン連盟	会長	宮崎　重勝
大会副会長	(公財)日本バドミントン協会	副会長	福田　達夫
	(公財)日本バドミントン協会	副会長	山田順一郎
	(公財)日本バドミントン協会	専務理事	銭谷　欽治
	北海道学生バドミントン連盟	会長	金田　隆一
	東北学生バドミントン連盟	会長	北見　正伸
	関東学生バドミントン連盟	会長	平野　泰宏
	中部学生バドミントン連盟	会長	末岡　熙章
	関西学生バドミントン連盟	会長	宮崎　克己
	中・四国学生バドミントン連盟	会長	青木　義和
	九州学生バドミントン連盟	会長	伊藤　龍峰
	神奈川県バドミントン協会	会長	羽隅　弘治
	(公財)日本バドミントン協会	派遣理事	中村　新一
大会名誉顧問	神奈川県知事		黒岩　祐治
	小田原市長		守屋　輝彦

大会顧問	綿貫　民輔	森　喜朗	関谷　勝嗣	森田　一
	平田登志郎	青木　昭二	毛利　清志	内多小五郎
	小宮　淳宏	吹田　修一	牧野　武	村山　幸雄
	濵中　誠	岡本　武利	三宅　祐司	野村　嘉明
	里見　光徳	佐藤　芳朗	竹林　克彦	油井　秀男
	淺岡　武	木村　寛	遠井　稔男	岡村　英男
	川島　一郎	板垣　隆房	上原　信彦	加藤　博司
	藤本　滋	藤原　和文	加藤　寛治	原　紀征
	鈴木　勝之	中山　紀子	藤原　航	真壁　幹雄
	籾井　勝人	野村　安忠	西村　健二	工藤　勇参
	千葉　健夫	築地　孝彦	三井　裕	髙橋　英夫

大会参与	能登　則男	阿部　秀夫	村元　英美	坂上　昭
	濱中　勉	河野　幸男	上松　芳則	小野　理
	芝　スミ子			
	平野　泰宏	大東　忠司	吹田　真士	平井　克英
	升　佑二郎	渡辺　英次	金子　元彦	川合　光
	佐藤健一郎	谷藤　智香	平井　孔明	松永　直人
	竹原　慧	兒嶋　昇	一寸木邦夫	

大会役員　委員

大会委員長	全日本学生バドミントン連盟	委員長	佐藤　優太
大会副委員長	関東学生バドミントン連盟	委員長	湊　彩華
	全日本学生バドミントン連盟	副委員長	内木場輝広
	全日本学生バドミントン連盟	副委員長	岡田　千穂
	神奈川県バドミントン協会	理事長	近藤　勇司

大会委員	銭谷　欽治	朝倉　康善	岩﨑　眞美	岡野　佳浩
	小国　久美	河崎　正紀	歸山　好和	小柳　尚久
	佐竹　養一	田部井秀郎	丹藤　勇一	遠井　努
	中村　新一	原田　利雄	源　憲治	毛利　達彦
	山蔭　栄			
	羽隅　弘治	近藤　勇司		
	平野　泰宏	大東　忠司	吹田　真士	平井　克英
	升　佑二郎	渡辺　英次	金子　元彦	川合　光
	佐藤健一郎	谷藤　智香	平井　孔明	松永　直人
	竹原　慧			

競　技　役　員

競技役員長（レフェリー）	（公財）日本バドミントン協会	公認レフェリー	戸川　力夫
総務部長	関東学生バドミントン連盟	常任委員	川合　光
総務委員長	関東学生バドミントン連盟	委員長	湊　彩華
総務副委員長	全日本学生バドミントン連盟	委員長	佐藤　優太
	関東学生バドミントン連盟	副委員長	阿部　文哉
	関東学生バドミントン連盟	総務部長	日野　滋斗
	関東学生バドミントン連盟	会計	五島あかり
総務委員	中林　寛貴	内木場輝広	岡田　千穂	川江萌々香
	久高　理夢	小島　結衣	阿武　春奈	
競技審判部長（デピュティーレフェリー）	（公財）日本バドミントン協会	公認レフェリー	義江浩一郎
競技審判副部長	関東学生バドミントン連盟	常任委員	金子　元彦
競技審判委員長	関東学生バドミントン連盟	審判副部長	吉村　篤郎
競技委員	中島　美咲	川上　明香	密林　裕太	奥村　奈未
	國分　俊秀	齋藤　晃輝	中林　寛貴	秋山　貴之
	荒島一太郎	池田あかり	富塚慎之介	野口　理帆
	服部　嶺	山家　一紗	小室　直椰	石塚日菜子
審判員	神奈川県バドミントン協会審判委員会 関東学生バドミントン連盟　加盟大学バドミントン部部員		
救護	竹原　慧	飯野　貴明	

大　会　要　項　①

1. 主　　催　公益財団法人 日本バドミントン協会、全日本学生バドミントン連盟
2. 主　　管　関東学生バドミントン連盟、福島県バドミントン協会
3. 後　　援　スポーツ庁、福島県、福島県教育委員会、(公財)福島県体育協会、郡山市、郡山市教育委員会、(公財)郡山市体育協会、(株)ベースボール・マガジン社
4. 協　　賛　ヨネックス(株)
5. 期　　日　令和３年１１月１２日(金) ～１１月１４日(日)
6. 会　　場　福島県宝来屋 郡山総合体育館　福島県郡山市豊田町3番10号　　TEL 024-934-1500
7. 日　　程　令和３年１１月１２日(金)　16：00　代表者会議(オンライン)
　　17：00　開会式(オンライン)
　　１３日(土)　9：30　審判会議
　　9：30　選手入館(※)
　　10：30　試合開始(１～４回戦)
　　１４日(日)　9：30　審判会議
　　10：00　試合開始(５回戦・準決勝・決勝)
　　表彰式、閉会式(競技終了後)
　※自身の試合開始１時間前から入館可能。詳細はタイムテーブルを参照すること
8. 種　　目　混合複
9. 競技規則　令和３年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による
10. 競技方法　トーナメント方式とし３位決定戦は行わない。
11. 使用用器具　(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び令和３年度第１種検定合格水鳥球を使用する
12. 参加資格　令和３年度(公財)日本バドミントン協会及び全日本学生連盟に登録しており、下記に該当する者
　(1) 令和元年度第70回全日本学生バドミントン選手権大会男女ダブルスでベスト32以上の選手で令和３年度学生連盟登録者
　(2) 令和元年度第70回全日本学生バドミントン選手権大会男女シングルスでベスト32以上の選手で令和３年度学生連盟登録者
　(3) 全日本学生バドミントン連盟に推薦された選手(若干名)
　(4) 各地区学生連盟に推薦された選手
　　推薦による枠数は以下の通りとする
　　北海道４組　東北４組　関東８組　中部４組　関西６組　中四国４組　九州４組
　(5) 令和元年度開催本大会のベスト８入賞選手
　(6) 令和3年度有効な審判員資格を持っている者(大会申込時に有効な資格を持っていること) ただし、今年度に限り暫定的に同資格を持たなくても出場を認める(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、(公財)日本バドミントン協会事業本部より 通達の「令和3年度本会主催大会に関する特別処置」に準じた)
　※上記(4)による推薦者が、(1) (2) (3)の選手とペアを組んだ場合は、その人数を繰り上げし、各地区推薦枠数は(4)のままとする。
　※なお、令和３年度については限定的な推薦基準となることを連絡しておく。
13. 組　合　せ　(公財)日本バドミントン協会指名のレフェリー(競技役員長)もしくは、デピュティーレフェリー(競技審判部長)指示の下、主管団体及び全日本学生バドミントン連盟との間で厳正に執り行う。
14. 参加費納入方法　(1) １組　6,000円
　(2) 各地区学生連盟で一括して関東学生連盟の下記口座に納入すること。
　　振込先　みずほ銀行　渋谷支店(２１０)
　　口座番号　１８３１２２８
　　口座名義　関東学生バドミントン連盟(代表　升　佑二郎)
　会計責任者　五島あかり　　携帯　080-5630-0525
　納入開始日及び締切日　　**令和３年６月25日(金) ～７月２日(金)**

大　会　要　項　②

15. 申込書送付方法　(1) 全日本学生連盟ホームページからダウンロードした所定の申込書に必要事項を入力し「入力したファイル」を電子メールにて下記宛て送付すること。

kantoibf.senshuken@gmail.com

※メールの件名、ファイル名は「ミックス大会申込＊＊大学」として下さい。

(2) メールで申込み後、「入力したファイル」を３部印刷し、各々を正・副・控として『都道府県協会会長印を捺印』の上、**登録地区学連事務局へ送付**すること（必着）。提出ない場合は棄権扱いとし大会に出場できない。

各地区学連は送付された申込書の「正・副」を一括して下記大会事務局まで送付すること。

(3) なお「控」は各地区学連で保管のこと（大会当日持参してください）

16. 申込締切り　(1) 入力した「申し込みファイル」　７月２日（金）24時必着

(2) 印刷した「正・副」　７月９日（金）必着

17. 表　　彰　(1) 優勝・準優勝及び３位には（公財）日本バドミントン協会より金メダル、銀メダル、銅メダルを授与する。

(2) 優勝から第３位までの選手に表彰状を授与する。

18. **大会事務局**　**〒227-0033**

横浜市青葉区鴨志田町560-5　サンヒルズ金子303号室　気付

第９回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会事務局

関東学生バドミントン連盟　委員長　湊　彩華（090-3574-9834）

19. 宿　　泊　宿泊の斡旋は致しません。各自でお取り下さい。

20. 着　　衣　色付き着衣を使用する場合は競技の品位を保つために（公財）日本バドミントン協会審査合格品とし、上衣ウェアの背面には大学名を必ず明示すること（全日本学生バドミントン連盟ホームページ「各種書類」にある『着衣上の背面、ロゴ等の表示に関する取り決め』を参照のこと）。

また、ゼッケンを使用する場合には、横30cm縦15cmを基準とし、必ず四隅を固定すること。なお、文字列の大きさについては（公財）日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。

21. 備　　考　(1) 競技者（部長、監督、コーチ、主将、主務、選手）は必ず（公財）日本バドミントン協会登録会員であること。

(2) 競技者は、マッチにふさわしい服装で臨むこと。また競技場に入る際は、必ず室内シューズを着用すること。

(3) 代表者会議、開会式は７の日程表を参照。詳細は全日学連HPを参照。

(4) 事故があった場合には、応急処置は行うが、その後の責任は各参加者の負担とする。

(5) 病気・事故に備えて、各自健康保険証を持参すること。最低保障のスポーツ傷害保険に加入しています。

(6) 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。

(7) 大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

(8) （公財）日本バドミントン協会環境委員会からのお願い

①開催地のゴミの分別収集にご協力下さい。（ゴミは各大学で責任をもって持ち帰って下さい。）

②宿泊先の部屋から出る時には必ず、エアコン、テレビ、ライトのスイッチを消して下さい。

③マイ歯ブラシを持参して大会に参加して下さい。

(9) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、公益財団法人日本バドミントン協会の「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」を基に、大会を開催いたします。

※1. ベスト４までの入賞者は全日本総合バドミントン選手権大会混合複本戦に推薦する。

※2. ベスト８までの入賞者は全日本総合バドミントン選手権大会混合複予選に推薦する。

※3. 令和３年度第９回ミックス大会に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大対策として、大会を８月から１１月に延期し実施することから、令和３年度全日本総合バドミントン選手権大会要項「10参加資格及び出場基準」の（１）-Ｆ及び（２）-Ｆの『上記大会が申込み期日までに開催出来ない場合は、令和３年６月発表「日本ランキング」を基にする一次申込み」部分は該当しないものとする。

競技・審判上の注意①

1. 競技上の注意

1）競技規則等について

本大会は、令和３年年４月１日現在の（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程および同公認審判員規程により行います。

2）競技方法について

トーナメント方式とし、３位決定戦は行いません。

3）選手の集合について

試合の進行状況によっては、試合開始時間や試合順序及びコートを変更して試合を行う場合があります。各大学、選手はパートナー同士の到着を確認してから受け付けを済ませてください。原則として選手は、試合開始予定時間の１時間前には試合会場にて待機してください。試合のコールがされたら選手は、速やかにコートに直接集合してください。コール後５分以上経過してコートに選手が揃わない場合には棄権とみなす場合があります。あらかじめ棄権がわかっている場合には、代表者会議の際に申し出てください。（所定の棄権届出用紙に必要事項を記載し、提出していただきます。）

4）練習時間について

別紙で指定された時間帯・コートでのみ練習を認めます。指定された時間帯・コート以外及び競技区域外では、シャトルを打ったり素振りやフットワークをしたりする等、練習は一切できません。

5）連続試合のレストタイムについて

連続試合の場合は、試合終了後20分程度のレストタイムを設けます。

6）インターバルについて

すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認め、第１ゲームと第２ゲームの間、第２ゲームと第３ゲームの間に、120秒を超えないインターバルを認めます。

7）アドバイスについて

シャトルがインプレーでないときに限り、プレーヤーはマッチ中にアドバイスを受けることができます。コーチは、許可されたインターバルを除き、指定された椅子に着席するものとし、チェンジエンズの都度、帯同するサイドへの移動をお願いいたします。各コートのバックバウンダリーライン後方にコーチ席を２席配置します。監督・コーチはマッチ（試合）にふさわしい服装で臨んでください。

8）競技時のプレーヤーの服装について

色付き着衣を使用する場合は（公財）日本バドミントン協会の審査合格品を限度とします。また、上衣背面に所属する大学名をはっきり確認できるよう明示してください。ゼッケンを使用する場合には四隅をしっかりと固定してください。（表示については大会運営規程第24条を遵守してください。ロゴの表示については全日本学生バドミントン連盟に申請して許可されたものに限り、所定の位置に明示する事を認めます。）

9）シャトルについて

シャトルは、第１種検定合格品を使用し、銘柄の変更には応じられません。マッチ（試合）内は、１銘柄固定とします。また、使用シャトルのスピードについては、レフェリー（競技役員長）が決定します。

10）携帯電話について

競技者は、マッチ（試合）中の競技区域または、コート周辺では電子機器（携帯電話等）の電源はオフにしてください。また、コーチ席においても、電子機器の使用は禁止します。（スマートフォンでの写真や動画の撮影もできません）。マッチ（試合）中のコートまたはその周辺において携帯電話が鳴っ

競技・審判上の注意②

た場合、競技規則第16条6項（4）の違反とみなし、同第16条7項を適用します。

11）試合中の怪我や病気について

試合中の病気やその他の事故のため競技を続行できないときは、主審はレフェリーに報告し、レフェリーの判定により棄権とみなします。なお、試合中の応急処置は主催者側で行いますが、その後の処置は各自の責任とします。

12）競技マナー

選手は、プレー継続の妨げになるような行為は慎んでください。又、主審（サービス・ジャッジ）、線審の判定に影響を与えるような、身振り手振り、そしてラケットを使用しての威嚇、或いは言葉による冒とく等を不品行な振る舞いとして処置します。また、試合終了時に、主審、サービスジャッジと握手するよう心掛けてください。また、応援は拍手のみと致します。選手、応援者とも、大会期間中は全ての機会において、スポーツマンシップに則った行動を意識してください。

2. 審判上の注意

1）審判の担当について

主審は主管者にて行います。線審は、初日の初回試合については、主管者で行いますが、以降の試合は、敗者の方が線審に就いてください。2日目（準決勝以降）の試合はすべて主管者側で行います。

2）スコアリングシステムについて

すべての種目を21ポイント3ゲームマッチ（ラリーポイント制）にて行います。スコアが20－20になった場合、その後2点リードをしたサイドがそのゲームの勝者となり、29－29になった場合には先に30点目を得点したサイドがそのゲームの勝者となります。

3）プレーヤーがコートを離れることについて

プレーヤーは競技規則第16条第2項のインターバルを除き、マッチ（試合）中、主審の許可なしにコートを離れてはなりません。給水やタオルの使用については、必ず主審の許可を得てください。なお、給水の容器についてはフタ付きのものとし、倒れてもこぼれないものを使用してください。缶や紙パックのドリンクの持ち込みは禁止とします。

4）プレーの遅延について

プレーヤーは、どんなことがあっても、体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはなりません。また、コート内を不必要に歩き回ったりすることは許されません。

5）コートの外からのアドバイスについて

シャトルがインプレーでないときに限り、プレーヤーはマッチ（試合）中、アドバイスを受けることができます。

6）プレーヤー以外の競技者がコートに入ることについて

プレーヤー以外の者は、原則としてコートに入ってはなりませんが、競技規則第16条第2項に定めるインターバルでは、どちらのサイドも同時に2人までエンドが替った後のコートに入ることができます。そして、主審が「…20秒」とコールしたらコートを離れるものとします。

7）シャトルの交換について

マッチ（試合）中のシャトルの交換は、主審が必要かどうかを決定します。

8）不品行な振舞いについて

競技規則第16条第4項、第5項、第6項のいかなる違反に対しても、主審は次の処置をとります。

競技・審判上の注意③

(1) 違反したサイドに警告をします。
(2) 一度警告の受けた後、再び違反した場合は、そのサイドをフォルトにします。
(3) 目に余る不品行な振舞いをしたり、またはそれを続けたりした場合には、その違反したサイドをフォルトとし、直ちに競技役員長（レフェリー）に報告します。

9）判定への質問について

審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーに限り質問することが認められます。ただし、抗議あるいは異議であってはなりません。

10）マッチ（試合）中の棄権について

マッチ（試合）中に選手から棄権の申し出があったときには、主審が判断します。

11）線審の判定について

線審は担当ラインについて、「イン」・「アウト」・「判定できない」を判定し、合図をしてください。また、アウトのときは、大きな声で「アウト」とコールしてください。

3. その他の注意

1）部旗・応援旗の掲示について

部旗等は競技に支障をきたさない大きさのものを使用してください。競技に支障をきたすと判断される場合には、移動をお願いいたします。また、部旗等は観覧席に掲示するものとし、貼り付ける場合には必ずひもを使用してください。

2）ビデオ撮影について

試合中のビデオ撮影は、バッテリーを使用した撮影のみ認めます。体育館内の電源を使用することは禁止します。フロアレベルでの撮影は、事前に申請し許可を得た者のみ認めます。

3）ごみについて

大会中に発生したごみは、各自必ずお持ち帰りください。また、館内の自動販売機以外で購入したペットボトルは、必ずお持ち帰りください。（館内の自動販売機に設置してある空容器収納ボックスに絶対捨ててはいけません。）

4）喫煙について

会場内での喫煙は、館外に指定された場所以外では絶対吸わないでください。トイレで喫煙するような行為があれば、大会が続行できませんので絶対しないでください。

5）飲食について

アリーナ内での飲食は禁止します。

6）その他

①フロアー内は土足禁止です。フロアー内では必ず室内シューズを着用してください。
②ロージンバッグ（ロージンバッグ使用の場合更に袋を使用する事。）・雑巾・氷嚢等をフロアー内に持ち込む場合は、床を保護する物を下に敷いてください。また、フロアー内へのクーラーボックスの持ち込みは禁止しますが、ラケットバッグに入る程度の小さなクーラーバッグは持込を認めます。飲み物は専用のバスケットを用意しますので、その中に置くようにしてください。（※ただし、万が一床を濡らしたり、汚した場合には速やかに清拭してください。）
③貴重品は各自で管理してください。盗難・紛失には責任をおいません。
④会場内での事故による応急処置はいたしますが、その後の責任は各参加者の負担となります。また、傷病発生の場合には、必ず大会本部まで届け出てください。

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

令和３年度　全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会
「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」要点

令和3年7月
全日本学生バドミントン連盟

○『令和 3 (2021) 年度 日本バドミントン協会『新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン（大会イベント実施版)」(令和 3 年 2 月 10 日更新)』をよく読み、加盟大学関係者全員がそれを理解すること。

○感染者、および体調不良者が絶対に大会会場に行かないこと。以下の場合は大会参加を自粛してください。

・自らが体調不良の場合
・感染症の濃厚接種者と認定され保健所から自粛を要請されている場合
・身近に発熱者がいて自らも感染症のリスクが否定できない場合

○仮に感染者（不顕性感染者）が体育館に入館していた場合でも、他の者が感染しないよう次のことを徹底すること。

▶ 不織布マスクを着用すること（不織布マスクが着用されていない場合、入館できない)。
▶ プレー中以外は常にマスクを着用すること。
▶ プレー中の水分補給を除くあらゆる飲食の場面で会話をしないこと。
▶ プレー中に許可されているアドバイス以外、マスクなしでの会話をしないこと（会話の一方だけでもマスクなしの場合、会話をしないこと)。
▶ 場面を問わず、入退館時を含む会場内ではソーシャルディスタンス（フィジカルディスタンス）を保つこと。
▶ こまめにアルコール消毒を行うこと。
▶ 使用した座席等の定期的なアルコール消毒を行うこと。
▶ コートサイドの床にラケット、タオル、飲み物などを置かないこと（トーナメントバックやかごを必ず使用すること)。
▶ 会場までの往復の際も感染症対策に配慮した行動を徹底すること。

本大会において、大会期間中に感染者が確認された場合は、神奈川県小田原市の判断により大会が中止（または延期）される場合もあることをあらかじめご了承ください。また、今後も当学連主催大会の開催を続けていくためには、全加盟大学の関係者が上記を遵守し行動していただく必要があります。残念ながらこれまでの各地区学連主催大会においては不適切な行動も数多く確認されております。適切な行動がとられなかった個人あるいはチームについては、当日の退館を命じることや以後の大会出場辞退をお願いすることもありますことをご承知置きの上、参加してください。

新型コロナウイルス感染症対策上の競技・審判上の注意①

大会運営に関わる全体的注意事項

●コロナ対策として体育館外での体調不良者は各チームで対応する。感染者・濃厚接触者は滞在先で隔離を行ってください。症状によってはサポートセンターに連絡します。

●発熱等（37.5℃以上）の症状がある場合、大会に参加（施設に入場）することは出来ません。また、体育館内での体調不良者は本部の指示で対応し体育館内の隔離施設を使用してください。

●期間中は、全ての参加者（選手・監督・コーチ・マネージャー・審判・運営スタッフ）が毎日、「健康状態申告書」を受付で提出し、検温を受けてください。

●IDについては申請者のみ14日間の経過観察･行動記録表を提出の上IDカードと引き換えてください。

●IDカードの有効期間は試合に負けるまでとします。試合終了後は素早く退館してください。（敗者審判がある場合は審判業務終了後とします。）

●今大会では、換気のため、一部の窓や扉を開放いたします。これによる、風および光の影響については、換気を優先とします。

●会場での食事は体育館のルールに則り行います。食事を許可された場合でも、黙食を徹底してください。健康保全のための水分補給については、容器は蓋付きで、倒れてもこぼれないものを使用してください。

●観客席では密を避ける観点から、席の間隔を１～２席以上開け、隣同士での観戦は禁止します。

●観客席からのアドバイス、声援は禁止、応援は拍手のみとします。

●コートに入り、主審の「練習開始」の指示まではマスクを外さないでください。

●会場内は出来るだけ選手同士の接触を避けるために一方通行の動線がひかれております、案内表示に従って行動してください。

競技上・審判上の注意事項

●ラケット、タオル、着替え用衣服、水分補給用用品等は直接床に置かず、トーナメントバッグ･キャリーバッグ・等の中に入れ、直接床に置くことは禁止します。

●練習等を含め１コートに入って練習できるのは４人までとし、密を避けてください。

●コーチ席はコロナ対策のため１名分の席、または置かない場合があります。

●コロナ対策のため練習用シャトルは各自持ち寄りで行なってください。

●練習コートでは練習終了後各自で清掃・除菌・消毒を行い、退出してください。

●練習コートは役員が見回り、コロナ対策が守られているか観察・指導します。

●トスを行うために選手を集めるときは２メートルの間隔をあけ､密にならないように注意してください。（特にダブルス時）また、マスクは付けた状態で行い練習するときに外してください。

●マッチ中は次のような行動はしないこと（以下が見られた場合、主審は注意をしてください）

① 意識的な試合中の声出し　② 汗を振り払う行為　③ 靴底を手で拭く行為

新型コロナウイルス感染症対策上の競技・審判上の注意②

●審判員及び対戦相手との握手は行わない。
●トスでサービス権を持ったファーストサーバー１人が、そのマッチ（試合）のシャトル交換時にシャトルに触れることとし、他の３人は触れないでください。
●主審の審判台の下にかごを置き、交換用シャトルのキャップをとった状態で筒ごと入れ、使用済みシャトルはかごの中に入れてください。
●汗拭きは線審が行うが、出来るだけ除菌できるもの（アルコールをつけた状態のモップ等）を使用してください。
●インターバル中の汗拭きも同様で、必ず清掃と除菌を実施してください。
●パートナー同士のハイタッチやハンドタッチはコロナ接触感染防止の観点から控えること。
●歓喜のあまり叫ぶ行為は、飛沫感染のリスク低減の観点から抑えてください。
●勝者署名は主審が代行するが、本人による確認は必ず行ってください。
●マッチ終了後主審はスコアボードをすぐに本部に返還し、審判用紙はレフェリーに提出、線審、得点掲示係は使用コートの除菌清掃に当たり、次の試合が迅速に行える準備をしてください。
●特例として本年度は公認審判員資格が申請中でも参加（第１種大会）を認めます。但し、更新者は必ず更新をおこなってください。
●観客席からのアドバイス、声援は禁止、応援は拍手のみとします。
●コロナ飛沫感染防止のため、線審は「アウト」の場合、両手を広げるゼスチャーを主審とアイコンタクトがとれるまで続け、「アウト」のコールは行わない。「イン」の場合、主審とアイコンタクトがとれるまで、右手でそのラインを指し示してください。

※ 以下　公益財団法人 日本バドミントン協会（第２版令和３年２月８日）新型コロナウイルス対策にともなうバドミントン活動ガイドラインに沿って行動してください。
※ 万が一感染者が発生した場合本大会を中止する場合があります。

大　会　日　程

11月12日(金)	オンライン		
	代表者会議	16時00分より	
	開　会　式	17時00分より	

11月13日(土)	宝来屋　郡山総合体育館		
	審 判 会 議	9時30分より	メインアリーナ
	1 ～ 4回戦	10時30分より	メインアリーナ

11月14日(日)	宝来屋　郡山総合体育館		
	審 判 会 議	9時30分より	メインアリーナ
	5回戦、 準決勝・決勝	10時00分より	メインアリーナ
	表彰式、閉会式	（競技終了後）	メインアリーナ

タイムテーブル

第1日目【11月13日(土)】

試合開始時間	選手・チームスタッフ入館時間	試合番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	サブアリーナ(練習コート) 16	17	18	19
10：30	9：30	1～13	XD-1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	練習コート			練習コート			
			13																		
11：45	10：45	14～19	14	15	16	17	18	19													
12：05	11：05	20～25							20	21	22	23	24	25							
12：25	11：25	26～31	26	27	28	29	30	31													
12：45	11：45	32～37							32	33	34	35	36	37							
13：05	12：05	38～42	38	39	40	41	42														
13：25	13：25	43～45							43	44	45										

換気

14：20		46～53	46	47	48	49	50	51	52	53											
15：00		54～61					54	55	56	57	58	59	60	61							

換気

15：50		62～65	62		63		64		65												
16：30		66～69		66		67		68		69											

第2日目【11月14日(日)】

試合開始時間	選手・チームスタッフ入館時間	試合番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
10：00	9：00	70～73	XD-70	71				72	73						練習コート		

換気

11：30		74～75	74		75												

換気

13：00		76		76													

練習コート割り振り

第１日目【11月13日(土)】

	メインアリーナ			サブアリーナ				試合開始時間	入館可能時間
	13	14	15	16	17	18	19		
10:00～10:15	XD-1～13			使用不可				10:30	9:30

10:55~11:10	XD-14	XD-15	XD-16	XD-17	XD-18	XD-19	使用不可	11:45	10:45
11:20~11:35	XD-20	XD-21	XD-22	XD-23	XD-24	XD-25		12:05	11:05
11:35~11:50	XD-26	XD-27	XD-28	XD-29	XD-30	XD-31		12:25	11:25
11:55~12:10	XD-32	XD-33	XD-34	XD-35	XD-36	XD-37		12:45	11:45
12:15~12:25	XD-38	XD-39	XD-40	XD-41	XD-42			13:05	12:05
12:35~12:50	使用不可			XD-43	XD-44	XD-45		13:25	12:25
12:50～				開　放 (本大会における試合前の練習のみ)					

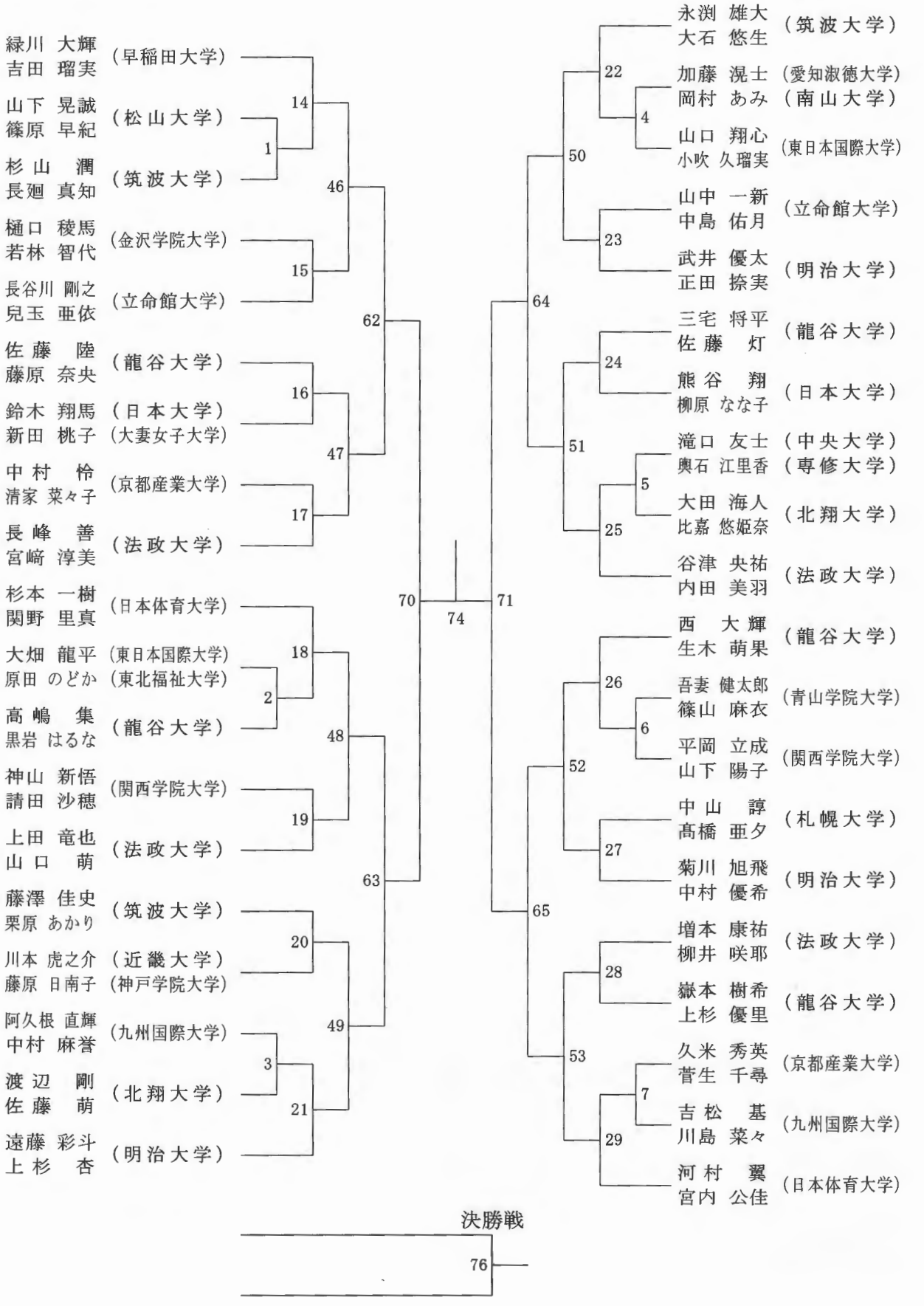
第２日目【11月14日(日)】

	メインアリーナ			サブアリーナ				試合開始時間	入館可能時間
	13	14	15	16	17	18	19		
9:15～9:45	XD-70～73			使用不可				10:00	9:00

10:00～	開放(本大会における試合前の練習のみ)	使用不可			

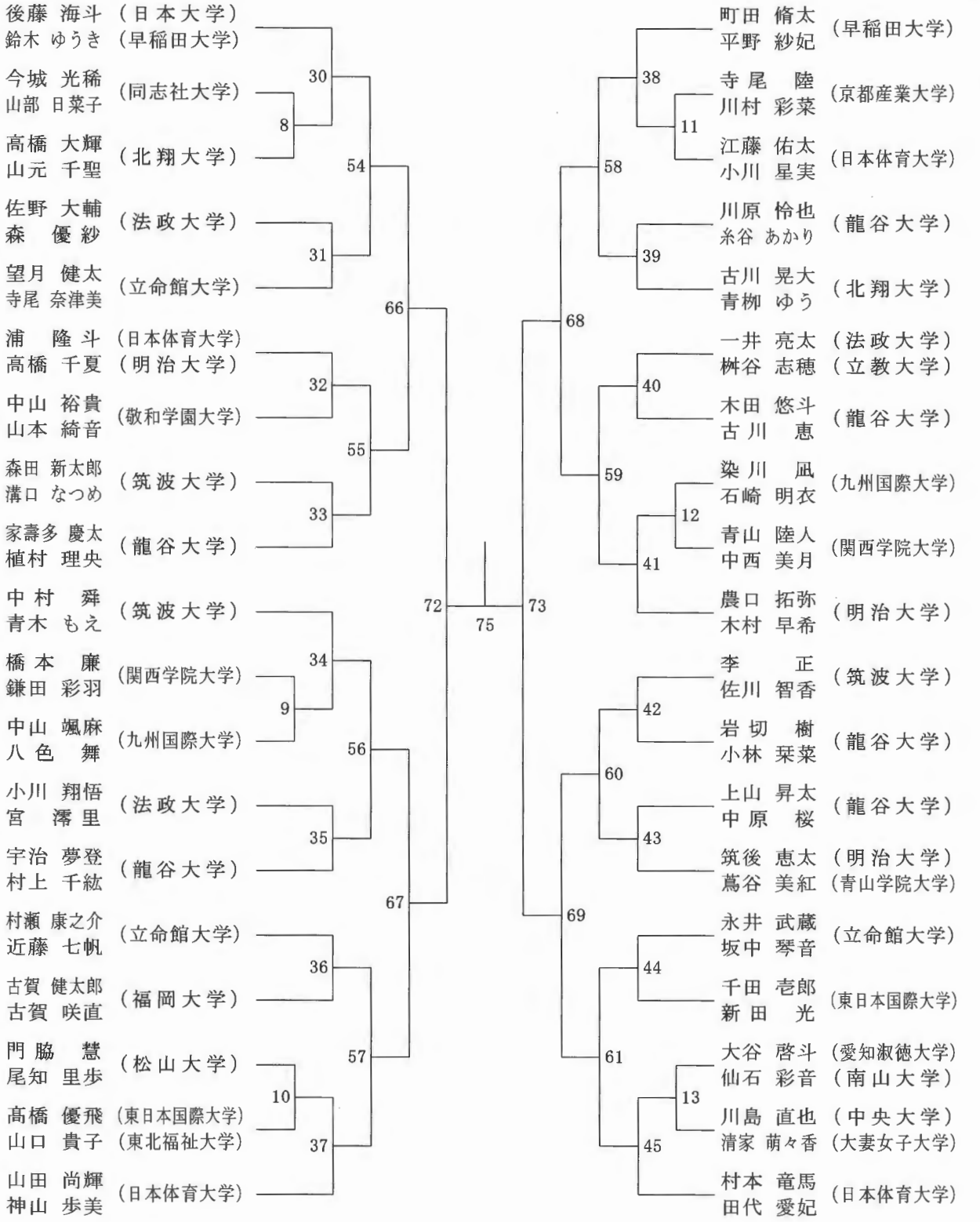
組　合　せ　①

混合ダブルス－1



組　合　せ　②

混合ダブルス－２



選　手　名　簿

有資格者（令和３年全日本学生選手権大会ベスト32）

1	上田　竜也	法政大学
	山口　　萌	法政大学
2	小川　翔悟	法政大学
	宮　　澪里	法政大学
3	長峰　　善	法政大学
	宮﨑　淳美	法政大学
4	増本　康祐	法政大学
	柳井　咲耶	法政大学
5	佐野　大輔	法政大学
	森　　優紗	法政大学
6	一井　亮太	法政大学
	桝谷　志穂	立教大学
7	遠藤　彩斗	明治大学
	上杉　　杏	明治大学
8	農口　拓弥	明治大学
	木村　早希	明治大学
9	武井　優太	明治大学
	正田　捺実	明治大学
10	筑後　恵太	明治大学
	蔦谷　美紅	青山学院大学
11	村本　竜馬	日本体育大学
	田代　愛妃	日本体育大学

12	山田　尚輝	日本体育大学
	神山　歩美	日本体育大学
13	宮内　公佳	日本体育大学
	河村　　翼	日本体育大学
14	平岡　立成	関西学院大学
	山下　陽子	関西学院大学
15	川本虎之介	近畿大学
	藤原日南子	神戸学院大学
16	緑川　大輝	早稲田大学
	吉田　瑠実	早稲田大学
17	町田　脩太	早稲田大学
	平野　紗妃	早稲田大学
18	永渕　雄大	筑波大学
	大石　悠生	筑波大学
19	李　　正	筑波大学
	佐川　智香	筑波大学
20	三宅　将平	龍谷大学
	佐藤　　灯	龍谷大学
21	家壽多慶太	龍谷大学
	植村　理央	龍谷大学
22	西　　大輝	龍谷大学
	生木　萌果	龍谷大学

23	岩切　　樹	龍谷大学
	小林　栞菜	龍谷大学
24	佐藤　　陸	龍谷大学
	藤原　奈央	龍谷大学
25	木田　悠斗	龍谷大学
	古川　　恵	龍谷大学
26	高嶋　　集	龍谷大学
	黒岩はるな	龍谷大学
27	川原　怜也	龍谷大学
	糸谷あかり	龍谷大学
28	嶽本　樹希	龍谷大学
	上杉　優里	龍谷大学
29	上山　昇太	龍谷大学
	中原　　桜	龍谷大学

全日本学連及び各地区推薦選手

1	谷津　央祐	法政大学	全日本
	内田　美羽	法政大学	
2	菊川　旭飛	明治大学	
	中村　優希	明治大学	
3	浦　　隆斗	日本体育大学	
	高橋　千夏	明治大学	
4	杉本　一樹	日本体育大学	
	関野　里真	日本体育大学	
5	後藤　海斗	日本大学	
	鈴木ゆうき	早稲田大学	
6	藤澤　佳史	筑波大学	
	栗原あかり	筑波大学	
7	中村　　舜	筑波大学	
	青木　もえ	筑波大学	
8	古川　晃大	北翔大学	
	青柳　ゆう	北翔大学	
9	宇治　夢登	龍谷大学	
	村上　千紘	龍谷大学	
10	古賀健太郎	福岡大学	
	古賀　咲直	福岡大学	
1	滝口　友士	中央大学	関東 (8)
	奥石江里香	専修大学	
2	江藤　佑太	日本体育大学	
	小川　星実	日本体育大学	
3	熊谷　　翔	日本大学	
	柳原なな子	日本大学	
4	鈴木　翔馬	日本大学	
	新田　桃子	大妻女子大学	
5	吾妻健太郎	青山学院大学	
	篠山　麻衣	青山学院大学	
6	川島　直也	中央大学	
	清家萌々香	大妻女子大学	

7	森田新太郎	筑波大学	関東 (8)
	溝口なつめ	筑波大学	
8	杉山　　潤	筑波大学	
	長廻　真知	筑波大学	
9	青山　陸人	関西学院大学	関西 (6)
	中西　美月	関西学院大学	
10	橋本　　廉	関西学院大学	
	鎌田　彩羽	関西学院大学	
11	神山　新悟	関西学院大学	
	請田　沙穂	関西学院大学	
12	久米　秀英	京都産業大学	
	管生　千尋	京都産業大学	
13	寺尾　　陸	京都産業大学	
	川村　彩菜	京都産業大学	
14	今城　光稀	同志社大	
	山部日菜子	同志社大	
15	山下　晃誠	松山大学	中四国 (4)
	篠原　早紀	松山大学	
16	門脇　　慧	松山大学	
	尾知　里歩	松山大学	
17	辞　　退		
18			
19	大畑　龍平	東日本国際大学	東北 (4)
	原田のどか	東北福祉大学	
20	千田　壱郎	東日本国際大学	
	新田　　光	東日本国際大学	
21	山口　翔心	東日本国際大学	
	小吹久瑠実	東日本国際大学	
22	髙橋　優飛	東日本国際大学	
	山口　貴子	東北福祉大学	
23	加藤　滉士	愛知淑徳大学	中部 (4)
	岡村　あみ	南山大学	

24	大谷　啓斗	愛知淑徳大学	中部 (4)
	仙石　彩音	南山大学	
25	樋口　稜馬	金沢学院大学	
	若林　智代	金沢学院大学	
26	中山　裕貴	敬和学園大学	
	山本　綺音	敬和学園大学	
27	中山　　諄	札幌大学	北海道 (4)
	髙橋　亜夕	札幌大学	
28	大田　海人	北翔大学	
	比嘉悠姫奈	北翔大学	
29	渡辺　　剛	北翔大学	
	佐藤　　萌	北翔大学	
30	高橋　大輝	北翔大学	
	山元　千聖	北翔大学	
31	中山　颯麻	九州国際大学	九州 (4)
	八色　　舞	九州国際大学	
32	染川　　凪	九州国際大学	
	石崎　明衣	九州国際大学	
33	阿久根直輝	九州国際大学	
	中村　麻誉	九州国際大学	
34	吉松　　基	九州国際大学	
	川島　菜々	九州国際大学	

昨 年 度 実 績 ①

秩父宮・秩父宮妃杯争奪　第70回全日本学生バドミントン選手権大会

2019.10.11-17　小田原市

ベスト16

種目	MT 男子団体	WT 女子団体	MS 男子単	MD 男子複	WS 女子単	WD 女子複
参加数	32	32	96	96	96	96
優　勝	台風のため中止		田中　湧士 （日本大学）	山下　恭平 山田　尚輝 （日本体育大学）	香山　未帆 （筑波大学）	朝倉みなみ 斉藤ひかり （龍谷大学）
準優勝			嶺岸　洸 （法政大学）	小川　桂汰 柴田　一樹 （敬和学園大学）	池内　萌絵 （日本体育大学）	鈴木　咲貴 田代　愛妃 （日本体育大学）
3　位			大林　拓真 （早稲田大学）	小野寺雅之 大林　拓真 （早稲田大学）	上杉　杏 （明治大学）	上杉　夏美 鈴木　成美 （明治大学）
			藤原　圭祐 （法政大学）	三上　楓 霜上　雄一 （日本体育大学）	西口　涼子 （明治大学）	吾妻　咲弥 吉田　瑠実 （早稲田大学）
5　位			山田　尚輝 （日本体育大学）	筑後　恵太 農口　拓弥 （明治大学）	近藤　七帆 （立命館大学）	大関　令奈 大石　悠生 （筑波大学）
			山澤　直貴 （法政大学）	光島　理貴 緒方　友哉 （日本大学）	西江　彩花 （龍谷大学）	木村　早希 上杉　杏 （明治大学）
			一井　亮太 （法政大学）	中島　拓哉 家壽多慶太 （龍谷大学）	吾妻　咲弥 （早稲田大学）	谷澤　安衣 石原　優美 （専修大学）
			緑川　大輝 （早稲田大学）	小倉　由嵩 三橋　健也 （日本大学）	朝倉みなみ （龍谷大学）	生木　萌果 藤原　奈央 （龍谷大学）
9　位			後藤　海斗 （日本大学）	阿部　柊斗 川口　寛祐 （龍谷大学）	鈴木ゆうき （早稲田大学）	佐藤　灯 植村　理央 （龍谷大学）
			野田　悠斗 （法政大学）	春日井一生 上田　竜也 （法政大学）	神山　歩美 （日本体育大学）	下陸ひかる 永田　瑞稀 （立命館大学）
			三橋　健也 （日本大学）	武井　優太 遠藤　彩斗 （明治大学）	山口　萌 （法政大学）	佐々木絢子 結城咲也子 （関西学院大学）
			田中　佑貴 （龍谷大学）	米田　翔平 藤田　啓汰 （立命館大学）	吉田　瑠実 （早稲田大学）	種岡　遥 米山　麻美 （龍谷大学）
			西野　勝志 （筑波大学）	酒井　健登 仁平　澄也 （明治大学）	酒井　虹穂 （北翔大学）	有川友理奈 桝谷　志穂 （立教大学）
			小野寺雅之 （早稲田大学）	本田　大樹 三宅　将平 （龍谷大学）	青山　栞子 （龍谷大学）	油上　芽恵 宮内　公佳 （日本体育大学）
			村本　竜馬 （日本体育大学）	寺田　真也 伊藤　吏永 （金沢学院大学）	小林　栞菜 （龍谷大学）	香山　未帆 佐川　智香 （筑波大学）
			戸内　佑亮 （関西学院大学）	小林　大吾 西川　薫 （日本体育大学）	佐川　智香 （筑波大学）	向井　仁那 内山　真希 （北翔大学）

昨 年 度 実 績 ②

秩父宮・秩父宮妃杯争奪　第70回全日本学生バドミントン選手権大会

2019.10.11-17　小田原市

ベスト32

種目	MT 男子団体	WT 女子団体	MS 男子単	MD 男子複	WS 女子単	WD 女子複
参加数	32	32	96	96	96	96
17　位	台風のため中止		小川　桂汰 （敬和学園大学）	小川　翔悟 佐野　大輔 （法政大学）	斉藤ひかり （龍谷大学）	上田　麻未 水野　成美 （立命館大学）
			鈴木　利拓 （筑波大学）	佐藤　　烈 伏見　勇真 （青山学院大学）	中島　祐月 （立命館大学）	桃井　伶実 平野　紗妃 （早稲田大学）
			光島　理貴 （日本大学）	齋藤　大樹 中山　裕貴 （敬和学園大学）	鈴木　成美 （明治大学）	野田帆奈美 甲斐　郁美 （龍谷大学）
			佐藤　雄輝 （中央大学）	芦塚貴一郎 村瀬康之介 （立命館大学）	伊東　佑美 （法政大学）	長町　夏実 長丸彩由子 （同志社大学）
			春成　星哉 （筑波大学）	野田　悠斗 長峰　　善 （法政大学）	志波　寿奈 （龍谷大学）	杉田　静香 福田　海離 （日本体育大学）
			本田　大樹 （龍谷大学）	鍵谷　由輝 平岡　立成 （関西学院大学）	黒岩はるな （龍谷大学）	牧　　李香 村井　結友 （金沢学院大学）
			並川　真大 （立命館大学）	西野　勝志 春成　星哉 （筑波大学）	森　　優紗 （法政大学）	石橋　　舞 岩谷　果歩 （青山学院大学）
			渡辺　俊和 （早稲田大学）	日詰　晴輝 増田　　智 （龍谷大学）	中原　　桜 （龍谷大学）	日野　嘉与 中田　真由 （作新学院大学）
			杉本　陽太 （立命館大学）	國井　颯人 杉本　陽太 （立命館大学）	落司　実瑠 （龍谷大学）	青山　栞子 志波　寿奈 （龍谷大学）
			川原　怜也 （龍谷大学）	馬場　浩市 松尾　涼平 （近畿大学）	中田　真由 （作新学院大学）	長谷川萌季 島田　知沙 （日本大学）
			中島　拓哉 （龍谷大学）	小野寺泰雅 山元　拓摩 （日本大学）	岡部　　天 （法政大学）	縄田　佳子 蔦谷　美紅 （青山学院大学）
			山下　恭平 （日本体育大学）	山澤　直貴 藤原　圭祐 （法政大学）	栃本ゆき乃 （龍谷大学）	栃本ゆき乃 古賀菜々子 （龍谷大学）
			川原　聡磨 （龍谷大学）	川端　直人 池田　佑介 （明治大学）	柳井　咲耶 （法政大学）	今野　聡子 山口　　萌 （法政大学）
			森　　宏樹 （東京情報大学）	浅原　大輔 吉村　徳仁 （早稲田大学）	正田　捺実 （明治大学）	近藤　弘美 清家菜々子 （京都産業大学）
			仁平　澄也 （明治大学）	大崎　広裕 佐藤　　陸 （龍谷大学）	森　咲和佳 （専修大学）	上杉　優里 古川　　恵 （龍谷大学）
			原口　翔多 （法政大学）	吉野　貴亮 川本虎之介 （近畿大学）	種岡　　遥 （龍谷大学）	池内　萌絵 神山　歩美 （日本体育大学）

過　去　の　成　績

年	回	順位	名　前(男子)	大学名	名　前(女子)	大学名	開催地
2013	1	1	藤　巻　嵩　寛	日本体育大学	本　郷　由　貴	日本体育大学	神奈川
		2	塚　本　好　喜	日本体育大学	関　根　早　織	日本体育大学	
		3	樋　渡　元　志	金沢学院大学	樋　口　亜依美	関西学院大学	
			長谷川　達　也	日本体育大学	木　戸　よし美	日本体育大学	
2014	2	1	竹　内　義　憲	日本体育大学	木　戸　よし美	日本体育大学	神奈川
		2	松　村　健　太	日本体育大学	関　町　理紗子	日本体育大学	
		3	古　賀　　輝	早稲田大学	清　水　　恵	早稲田大学	
			三　浦　光　将	日本体育大学	浦　谷　夏　未	専　修　大　学	
2015	3	1	齋　藤　太　一	早稲田大学	島　田　きらら	早稲田大学	神奈川
		2	古　賀　　輝	早稲田大学	清　水　　恵	早稲田大学	
		3	富　岡　寿　将	早稲田大学	我　妻　美紗紀	早稲田大学	
			髙　野　将　斗	明　治　大　学	高　崎　真　実	明　治　大　学	
2016	4	1	五十嵐　　優	中　央　大　学	安　田　美　空	筑　波　大　学	東　京
		2	松　居　圭一郎	日本体育大学	中　村　恭　子	日本体育大学	
		3	玉　手　勝　輝	日本体育大学	財　津　　穂	日本体育大学	
			馬　場　湧　生	筑　波　大　学	加　藤　美　幸	筑　波　大　学	
2017	5	1	古　賀　　穂	早稲田大学	中　西　貴　映	早稲田大学	千　葉
		2	玉　手　勝　輝	日本体育大学	財　津　　穂	日本体育大学	
		3	西　川　裕次郎	法　政　大　学	宮　浦　玲　奈	法　政　大　学	
			仁　平　澄　也	明　治　大　学	上　杉　夏　美	明　治　大　学	
2018	6	1	緒　方　友　哉	日　本　大　学	安　田　美　空	筑　波　大　学	神奈川
		2	市　川　和　洋	日本体育大学	池　内　萌　絵	日本体育大学	
		3	小　倉　由　嵩	日　本　大　学	吾　妻　咲　弥	早稲田大学	
			仁　平　澄　也	明　治　大　学	上　杉　夏　美	明　治　大　学	
2019	7	1	緑　川　大　輝	早稲田大学	鈴　木　ゆうき	早稲田大学	千葉
		2	村　本　竜　馬	日本体育大学	田　代　愛　紀	日本体育大学	
		3	小野寺　雅　之	早稲田大学	吾　妻　咲　弥	早稲田大学	
			酒　井　健　登	明　治　大　学	鈴　木　成　美	明　治　大　学	
2020	8	大　会　中　止					福島
2021	9	1					
		2					
		3					
2022	10	1					
		2					
		3					
2023	11	1					
		2					
		3					
2024	12	1					
		2					
		3					
2025	13	1					
		2					
		3					
2026	14	1					
		2					
		3					

主管学連紹介

○は出場選手

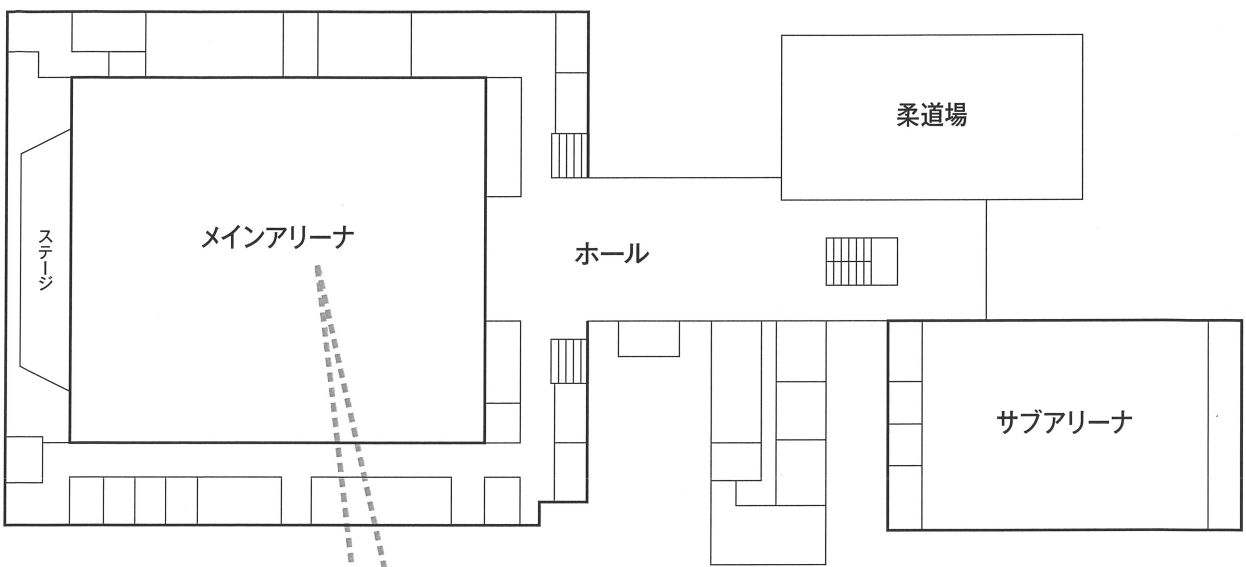
関東学生バドミントン連盟					
役職	氏名	所属大学名	学年	XD	メッセージ
委員長	湊　彩華	東京女子体育大学	4		
副委員長	阿部　文哉	法政大学	4		
副委員長	日野　滋斗	日本大学	4		
会計	五島あかり	日本体育大学	4		
常任委員	佐藤　優太	神奈川大学	4		
常任委員	中島　美咲	大妻女子大学	3		
学連委員	川上　明香	日本女子体育大学	3		
学連委員	密林　裕太	筑波大学	3		
学連委員	奥村　奈未	日本体育大学	3		
学連委員	國分　俊秀	法政大学	3		
学連委員	齋藤　晃輝	法政大学	3		
学連委員	中林　寛貴	日本体育大学	3		
学連委員	吉村　篤郎	東海大学	3		
学連委員	秋山　貴之	日本体育大学	2		
学連委員	荒島一太郎	早稲田大学	2		
学連委員	池田あかり	日本体育大学	2		
学連委員	富塚慎之介	法政大学	2		
学連委員	野口　理帆	東京女子体育大学	2		
学連委員	服部　嶺	筑波大学	2		
学連委員	山家　一紗	明治大学	2		
学連委員	小室　直椰	日本大学	2		
学連委員	石塚日菜子	大妻女子大学	1		
顧問	佐藤　優太	神奈川大学	4		全日本学生連盟委員長
顧問	中林　寛貴	日本体育大学	3		全日本学生連盟会計

コロナウイルス感染拡大により、昨年度は大会を開催させることができませんでしたが、大会へ参加する選手の皆さんが最高のプレーを発揮できるよう、主管学連一同全力で運営に力を注ぎます。

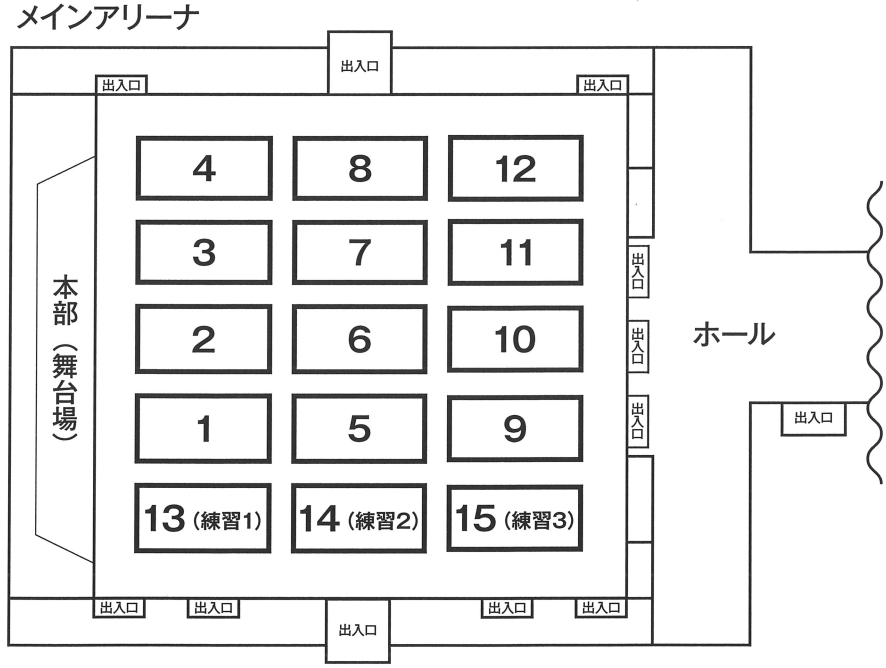
また、初めての神奈川県小田原市小田原アリーナでの開催となります。この第9回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会が思い出に残るよう祈念いたします。

体 育 館 見 取 図

1F



メインアリーナ



バドミントン・マガジン

Badminton MAGAZINE

毎月22日発売!

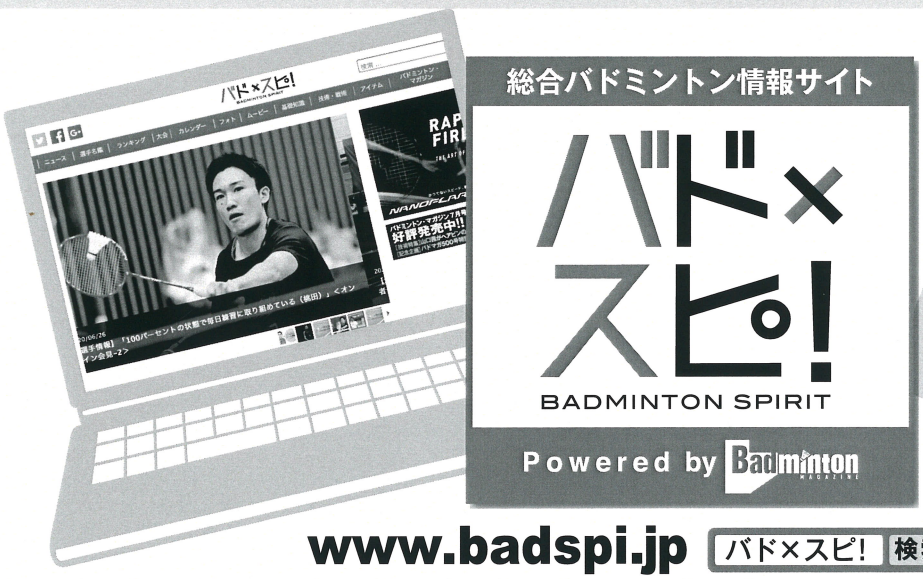
競技者必携、国内唯一の専門誌











www.badspi.jp バド×スピ! 検索

国内唯一の専門誌『バドミントン・マガジン』が運営する総合バドミントン情報サイト
『バド×スピ!(BADMINTON SPIRIT)は、国内外の最新ニュースや、各種大会詳報、
すぐに役立つ技術講座など、バドミントンに関するあらゆる情報をお届けします!

ライバルに差をつけろ! 自主練習シリーズ



バドミントン

[ふたば未来学園中学校バドミントン部監督]
齋藤 亘 著
定価1,870円(税込) ◎好評発売中!

数々のトッププレーヤーを育てた著者が、基礎的な動作やトレーニング、ノック、パターン練習と、70に及ぶメニューを紹介。自主練習で基本から応用まで、正しい技術をステップアップしながらスムーズに習得できます。

桃田賢斗が世界一になった30の理由

桃田賢斗／中西洋介／佐藤翔治
定価1,650円(税込)

どんな逆境にも負けずに前を向く、桃田賢斗の強さの源を、心、技、体、転機、生き方の5つの章に分けて伝える。撮り下ろしフォトも満載!



バドミントン世界1位の壁を越える思考と行動

BASEBALL MAGAZINE SHA 株式会社ベースボール・マガジン社

https://www.sportsclick.jp/bookcart/
受注センター 0120-911-410(月~金10:00~12:00、13:00~16:00※除・祝祭日)

» VOLUME CUT RESIN
» NEW AND IMPROVED DESIGN
» SHAFT & CAP
» EVEN FINER WEIGHT DISTRIBUTION
» IMPROVED ROTATING POWER
» RIGID FRAME SHAPE

YONEX
far beyond ordinary



EVOLUTION
この進化を、その一振りに。

NEW ASTROX 88S
ASTROX 88D

アストロクス 88S PRO / 88D PRO ¥28,600(税込)

YONEXJPN　yonex_jp　yonex_jp　www.yonex.co.jp

YONEX_INNOVATIONS_LAB
TOKYO_JAPAN
REF_0938405686534_04